

# 11月給食だよ!



令和4年11月  
朝日ヶ丘小学校

肌寒い日が増え、秋があっという間に過ぎていきそうですね。これからの時期は、温かい料理や冬野菜がおいしい季節になります。給食にもたくさん取り入れていきたいと思ひます。体の温まる根菜類を食べて、睡眠を十分にとり、寒さに負けない体づくりをしていきましょう!

## 和食の魅力とは?

日本の食文化は、ユネスコ無形文化遺産に「和食」；日本人の伝統的な食文化」として登録され、世界からも注目されています。この「和食」とは、料理のことだけでなく、「自然の尊重」という精神に基づいて育まれてきた食に関する社会的慣習を意味し、右のような特徴があります。持続可能な社会を実現するためにも大切にしていきたい食文化です。11月24日は、一般社団法人和食文化国民会議が定める「和食の日」です。和食を味わい、その魅力を感じ、これからの日本の食文化について考える機会にしていだければと思ひます。

## 和食の4つの特徴

<p><b>1</b> 多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重</p>	<p><b>2</b> 健康的な食生活を支える栄養バランス</p>
<p><b>3</b> 自然の美しさや季節の移ろいの表現</p>	<p><b>4</b> 正月などの年中行事との密接な関わり</p>

## 和食に欠かせない「ご飯」

和食は、お米を炊いた「ご飯」を中心に、「汁」と「おかず(菜)」を組み合わせた「一汁二菜」や「一汁三菜」の献立が基本です。栄養バランスが良く、日本人の長寿を支える健康的な食事です。また、お米は日本人にとって欠かせない作物で、年中行事とも深く結びついています。



## 日本人が発見した「うま味」

だしの「うま味」は、和食の味わいに欠かせないものです。明治時代に、日本の科学者・池田菊苗博士が昆布のだしからグルタミン酸を発見し、これを「うま味」と名づけました。イノシン酸やグアニル酸などのうま味成分も日本人によって発見され、甘味・塩味・酸味・苦味と並ぶ5つの基本味の一つとして世界でも認められています。英語でもそのまま「UMAMI」と呼ばれます。

### 「だし」の素材とうま味成分

- ◆ 昆布…グルタミン酸
  - ◆ カツオ節・煮干し…イノシン酸
  - ◆ 干しいたけ…グアニル酸
- 

## 和食のマナーをチェック!

<p><input type="checkbox"/> 「いただきます」「ごちそうさま」を、心を込めて言っていますか?</p> <p>食事のあいさつには、自然の恵みや生き物の命、食事が出来るまでに関わった人々への感謝の気持ちが込められています。</p>	<p><input type="checkbox"/> 食器の正しい置き方を知っていますか?</p> <p>おわんの持ち方 ご飯は左、汁物は右、おかずは奥に置くのが基本です。ご飯や汁物のおわんは、手に持って食べます。</p>	<p><input type="checkbox"/> 箸を正しく持っていますか?</p> <p>上の箸だけを動かして、食べ物を挟みます。箸のみで食事をするのは、日本独自の習慣です。</p>
--	--	---

## こくさんりよくちゃ がっこうきゅうしょくていきょう ~国産緑茶の学校給食提供について~

新型コロナウイルス感染症により需要が大きく落ち込んだ国産の茶葉を使用した緑茶を学校給食などで提供することにより、消費を拡大し、子どもたちにその美味しさや魅力を伝えていきたいということから、緑茶のティーパックのパックを一人に1袋ずつ無償提供します。ご家庭で、お子様とぜひ一緒に緑茶を飲まれてはいかがでしょうか?

